



社会福祉法人
あおば厚生福祉会
Aoba Welfare

令和3年度事業報告書

目 次

介護事業部事業報告

【特別養護老人ホーム茂庭台あおばの杜】

- I. 当年度の主な活動 P1
- II. 年間各種活動報告 P15

保育事業部事業報告

【富沢みなみ保育園】

- I. 実施状況 P19
- II. 施設運営管理 P21

【鹿野なないろ保育園】

- I. 実施状況 P28
- II. 施設運営管理 P30

【榴岡なないろ保育園】

- I. 実施状況 P38
- II. 施設運営管理 P40

介護事業部事業報告

【特別養護老人ホーム茂庭台あおばの杜】

I. 当年度の主な活動

i 介護課

【今期の目標と趣旨】

介護課は施設重点目標に掲げる「理念の実践」「事故防止対策」を大きな課題とし、利用者一人一人の意思及び人格を尊重し、安心・安全に日常生活を営むことができるように支援します。施設内での生活援助として専門的な知識をもとに職員への指導・周知の実施を行うことを目標として取り組んで参ります。

【方針】

- (1) 「笑顔」を大切にしながら関わりを持ち、日々安心して生活を送って頂けるようにサービスを提供する。
- (2) 個々の楽しみをもって元気に過ごせるよう取り組む。
- (3) 利用者の生活援助を行う上でご家族とのコミュニケーションを大切にする。
- (4) 職員の専門性の向上、常に細やかな配慮の意識、チームワークケアの強化を図る。
- (5) 地震・火災の際に利用者、ご家族への対応を迅速に行う。

【令和3年度実施報告】

重点目標として掲げた「理念の実践」は職員一人一人が職員行動規範10項目を意識し、知識・技術の向上に努めて参りました。知識・技術向上の為に内部研修、外部研修への参加を充実させることで個々のスキルアップへと繋がり、チーム内での連携・考察の質もあがりケアの質も向上しています。ケアの質が向上したことにより利用者の思い、笑顔を引き出し支援することが出来ました。

「事故防止対策」として事故への意識付けを強化したことにより、少なかったヒヤリハットの件数が増加し、事故件数の減少が見られています。取り組み時は事故の件数が多く見られていましたが、ヒヤリハットの項目設定や記載方法を見直し、環境を整えた事で一人一人がヒヤリハットへの意識を高く持ち施設全体で取り組むことが出来ました。事故発生後は速やかに出勤職員にてカンファレンスを行い、考察・対応策を検討し職員への周知

を実施しています。カンファレンスには他部署も参加し、業務上の連携もスムーズに行う事が出来ています。

今年度は排泄支援の質の向上、褥瘡予防、コスト削減等の観点からオムツの業者をユニ・チャームから白十字に変更し、オムツの選定、オムツ交換時間の検討をユニット単位で行っています。オムツの選定を行うことで皮膚トラブルの減少、尿漏れの減少に繋がっていくことが出来ました。また、使用率や発注環境の見直し等、オムツ・パット類のコスト削減を意識し取り組んでいます。また、検討する機会が増えたことで職員間のコミュニケーション量が増え、連携強化にも繋がっています。その他、白十字のオムツ研修も取り入れることで、オムツへの理解、介護技術の向上、パット類の見直しが必要なのか、交換回数の見直しが必要なのかを職員一人一人が意識したことで利用者へのケアの見直しが出来た他、排泄ケアへの意識の向上も図ることで出来ました。

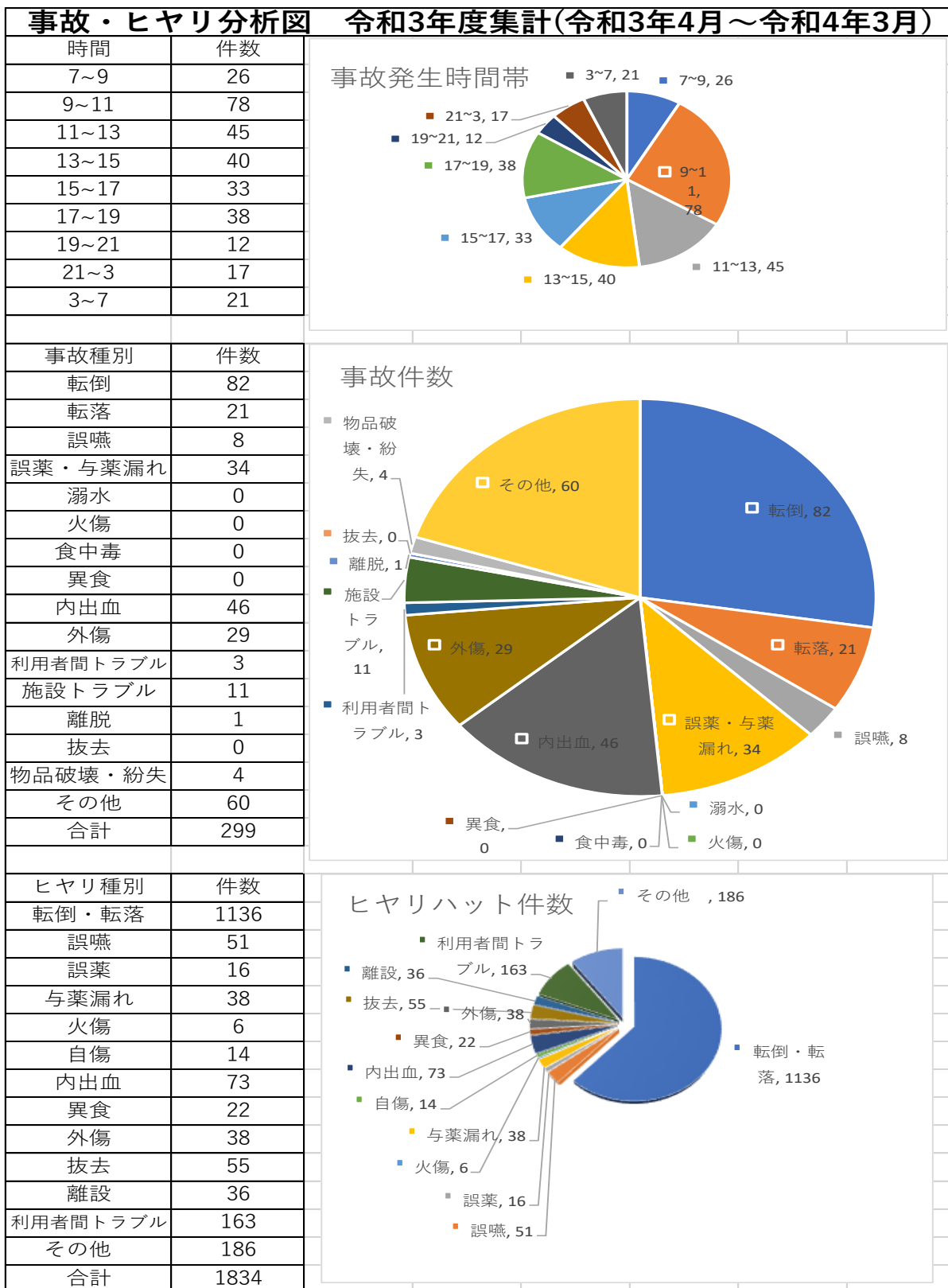
感染対策については、ユニット職員の出退勤方法を各階ごとに分け、不要なフロア間の行き来の制限を行うことで、新型コロナウイルスの感染予防対策を実施しております。対策を実施したことで施設内での感染者はなく、インフルエンザ等の発生もなく経過しました。また各ユニットで新型コロナウイルス感染の発生を想定した模擬訓練を実施し、各職員に実際の動線の確認、ガウン、防護服の着用方法、各備品のチェックを行っています。模擬訓練の実施は策定したBCPの内容を基に、今後も継続していきます。

新人職員への指導については、入職日よりオリエンテーションを実施し、ユニット配属前に介護知識の理解、介護技術の確認、会社の概要・方針の確認等を行う事で、スムーズに業務に入り易い環境を整えました。オリエンテーション導入は、入職者の精神的負担軽減や配属先へのスムーズな介入につながっています。また、ユニット配属後はタイムスケジュール、各利用者の情報シートの作成、指導者の選定を行い入職者への情報提供を行うことで、利用者の理解や動きを早期に理解して頂くことが出来ました。

介護課で行なうレクリエーションや機能訓練については、日々の生活の中で口腔体操や軽体操を実施し残存能力の活用や維持を目的に、楽しみながら参加できるよう取り組んでいます。毎日実施することで利用者の楽しみを増やし活気ある生活を送って頂けるよう支援しています。その他、季節に応じた装飾の準備やイベントレクリエーション等も実施し、利用者の楽しみや笑顔を引き出す取り組みを行いました。

ご家族との情報共有の取り組みとして、毎月利用者の生活の様子をお伝えするお手紙を作成し、ご家族へ郵送を実施しています。利用者からご家族へ向けたメッセージがある方は実際に記載し、難しい場合は職員が代筆し様子をお伝えしています。その他、ホームペ

ージのブログ内で生活の様子やレクリエーションの様子を掲載し、少しでも生活の様子がわかるよう取り組みを行っています。



ii 看護課

【今期の目標と趣旨】

看護課は施設重点目標に掲げる「理念の実践」「感染対策」「事故防止」「機能訓練」を大きな課題とし、利用者一人一人の意思及び尊厳を尊重し、安心・安全に日常生活を営むことが出来るように援助していきます。感染予防の取り組みでは職員へ指導・周知の実施を強化し施設内感染予防に努めます。

又、利用者の医療ニーズに対応し、医師の指導のもと医療事故防止に努める取り組みを行っていきます。

【方針】

- (1) 感染症対策を研鑽し、利用者が安心・安全に過ごされる様、専門的知識を基本とし質の向上に努める。
- (2) 医療ケアを必要とされる方のニーズに合わせ、医療機関との連携を図り個々に合ったケアを行う。
- (3) 医療事故防止を目的とし業務効率化と統一を図る。
- (4) 利用者やご家族が納得できる看取りケアを実践する為、医師や多職種と連携を図り質の向上に努める。
- (5) どのような身体状況であっても、生活の喜びや楽しみを感じて頂ける様なケアに努める。
- (6) 利用者の健康状態把握と情報管理、担当者会議へ参加し医療的観点からの助言・指導に努める。

【令和3年度実施報告】

新型コロナウイルス感染症に対し考察し、施設内感染予防の為、環境、職員指導に努め、感染対策を実施しております。また、利用者自身が日常生活を健やかに営むことができるよう日々の健康状態を把握し、ケアプランに沿った施設看護を行ってきました。年々高まる医療依存度の高い疾患、看取り、感染症、褥瘡等についても研鑽し質の向上に努めました。

事故防止への取り組みについては、部署ミーティングを開催し、業務手順やマニュアルの見直しを行い、より安全で効率的な対応を心掛けました。また外部機関とも良好な関係が維持できるよう努めました。

【概要】

1 健康管理

多職種と連携し日々の利用者の身体状況を把握し、体調変化時は嘱託医への報告、医療的助言を下に迅速な対応を行いました。

2 医療処置

健康診断の受検を始め、定期的な通院、検査等嘱託医の指導の下実施しました。流行性の感染症に対し予防接種等の実施についても迅速に実施しています。

医療依存への対応では、痰吸引や経管栄養、点滴、インスリン、留置カテーテル管理等を始め、麻薬管理等も行い個々のニーズに合わせた対応を行いました。

3 ご家族との連携

利用者の健康状態を把握しご家族へ情報提供と意向を伺いながら、施設とご家族が協力してケアが提供できるように努めました。看取り期のケアにおいてはご本人やご家族の意向を受け入れ、個々のニーズを尊重しながらケアを行いました。

4 その他

入職者を対象とし、感染対策の指導、血圧測定、口腔ケアを含む口腔内吸引・酸素吸入管理、呼吸器管理、急変時の対応について指導を実施しました。又、機能訓練指導員と協力し利用者の身体機能維持にも助言、指導を行いました。

5 入院に関する状況（入院時の疾患名）

誤嚥性肺炎 心不全 狭心症 貧血 心筋炎 胃ろう造設 丹毒 脳梗塞 脳出血
甲状腺機能亢進症 尿路感染症 腸閉塞 ダンピング症候群 膀胱癌 蜂窩織炎
慢性腎不全 重症肺炎 逆流性食道炎

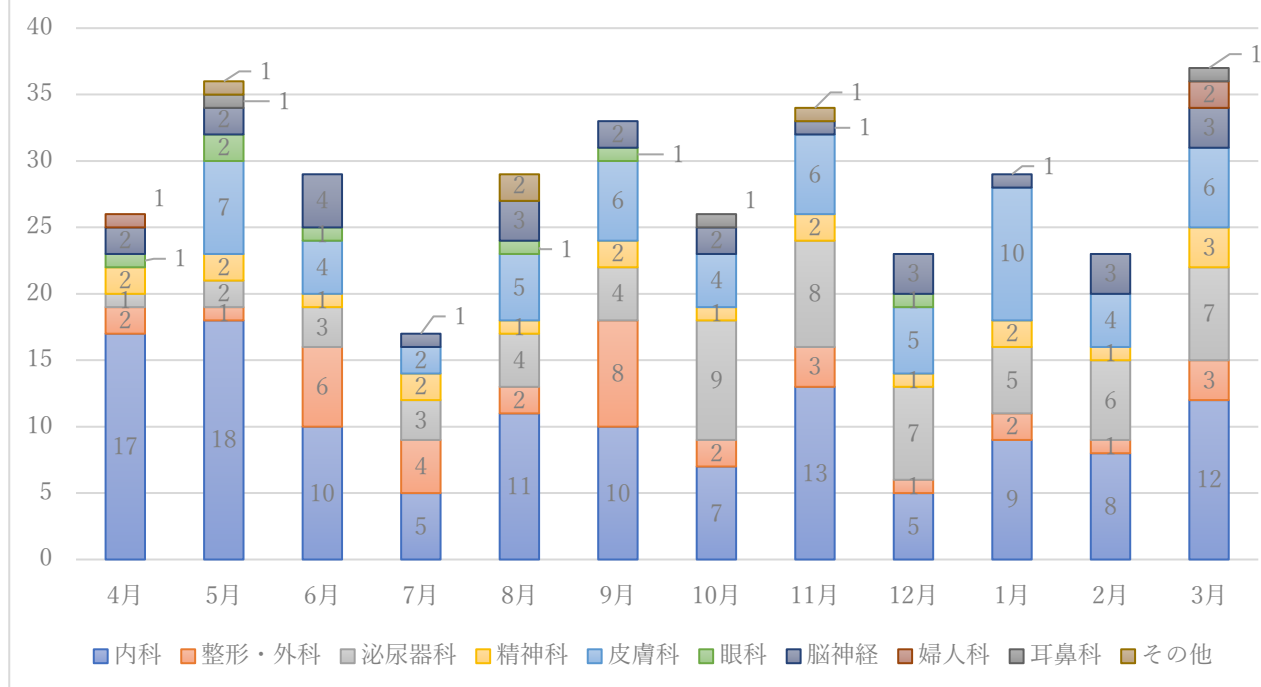


※年間通しての長期利用者の状態観察、施設内環境調整に努める必要性を感じます。

6 受診に関する状況（今期受診病院）

イムス明理会仙台総合病院 中嶋病院 仙台厚生病院 仙台市立病院 長町病院
JCHO 仙台病院 仙台徳洲会病院 東北大学病院 東北労災病院 広南病院
仙台オープン病院 仙台赤十字病院 総合南東北病院 東北医科薬科大学病院
仙台医療センター おおなみ皮膚科 あやし眼科 やん整形外科 南吉成耳鼻咽喉科
平成眼科 森ウイメンズクリニック 富沢病院 せせらぎクリニック 西多賀病院
あおば脳神経外科 洞口・佐藤クリニック 太白皮膚科 森整形
南吉成島村整形外科 JCHO 仙台南病院 あきもとクリニック

令和3年度 外部医療機関月別受診人数



(他科：婦人科・肛門科・胃瘻交換・ペースメーカー点検等)

※グラフの主な疾患内容は、内科的には嚥下状態の低下等が原因となる誤嚥性肺炎、腎機能低下に伴う尿路感染症、外科・整形外科的には骨粗鬆症が要因となった疾患、皮膚科的には皮膚乾燥による合併症、脳外科的には下肢機能低下等による転倒時、頭部打撲があった場合の検査、眼科的には目の機能低下や循環障害による合併症等がみられました。各診療科において高齢者特有の機能低下による諸症状が多く、データをもとにこれらの疾病等への予防対策に努めていきます。

7 感染BCPの作成（感染症発生時の事業継続計画）

コロナウイルスや様々な感染症が施設内で蔓延した際に、施設サービスが継続的に見えるよう、看護課を中心として感染BCPの作成を実施しています。看護課として積極的に感染症についての研修に参加するだけでなく、感染症の予防対策、感染経路の追跡、感染症発生時のゾーニング、感染防止アイテムの使用法の周知、医療材料等の備蓄について日々準備を行っています。また、今期は感染症の発生を想定した施設内研修を実施し、出勤から勤務、退勤するまでの一連の流れで学ぶことができるよう連続した日程で行なっています。

感染BCPの作成・更新と合わせて、施設職員を対象とした毎日の健康チェックと必要時の抗原検査を推進しています。職員の体調管理を行う事で、安心安全な施設サービスが提供できるよう今後も継続して実施していきます。

iii 機能訓練課

【今期の目標と趣旨】

日常生活に支援・介助が必要な状況である利用者が安心・安全に生活を営み、「生活の再建」を支援できるよう専門的知識のもとに機能訓練や暮らしにおける活動の場と役割を付与し、個々で様々な活動行事に積極的に取り組める環境を心がけていきます。

【方針】

- (1) 機能訓練以外にも日々の暮らしの中で出来ることを利用者自身で行えるように促し、心身機能の維持・向上を目標とする。
- (2) 利用者の立場となって適宜、身体評価の確認を行い、適切な支援と動作介助量かを常に見極める。
- (3) 機能訓練指導員に関わらず介護職員も生活リハビリに対する重要性の理解を深めて利用者のもつ残存機能を最大限に活用する。
- (4) 個々の生きがい、希望、目標に添えるように、多職種で連携し、機能訓練計画を立て取り組む。

【令和3年度実施報告】

(1) 長期、短期入所の集団機能訓練の実施

集団での機能訓練は、感染予防対策を行いながら実施しました。4～5回/週の頻度で集団体操を行い、身体機能低下の予防に努めました。

集団体操のほか、3回/月の頻度で少人数のレクリエーションを実施しました。モニター画面を見ながらの体操や、他企業と提携した催しをレクリエーションに組み込み、利用者に楽しんで頂けるよう介護職員へ協力を仰ぎながら実施しました。

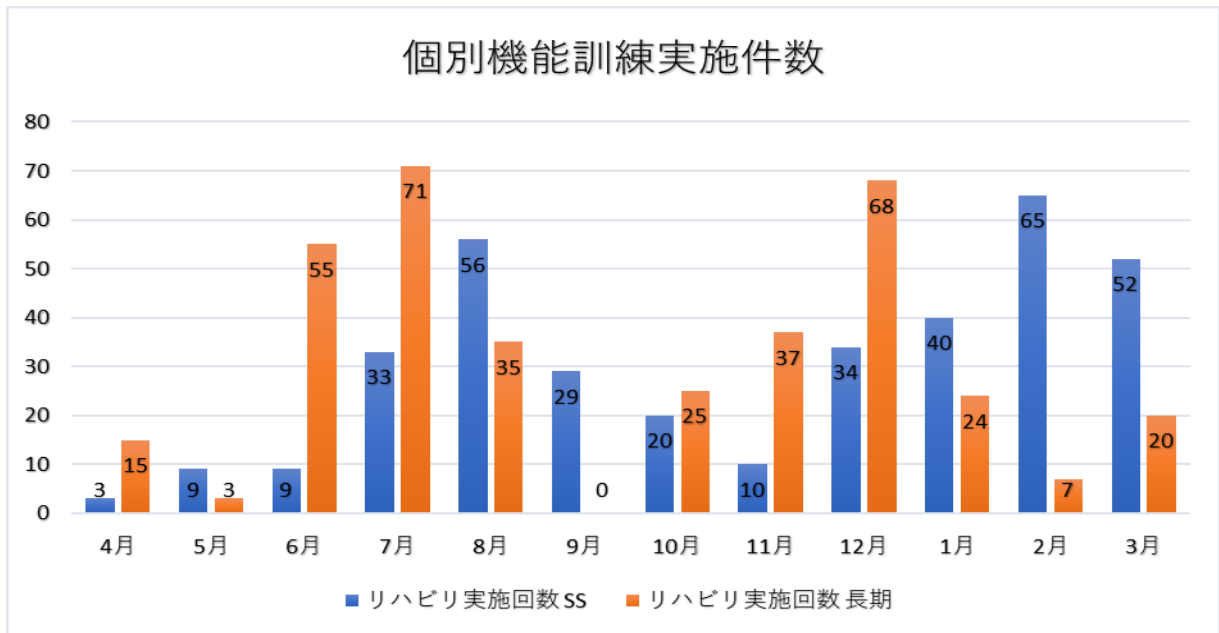
(2) 長期利用者 個別機能訓練

利用者の日常の生活動作を都度評価したうえで、施設サービス計画書・個別機能訓練計画書に基づいて実施しました。動作時の能力維持のほか、残存機能が引き出せるように居室内の環境調整や福祉用具の選定を行いました。また、口腔ケア・食事動作、対人状況など日々の変化を把握して、認知機能面の維持に努めるよう机上訓練や体操・レクリエーションを実施しました。

(3) 短期利用者 個別機能訓練

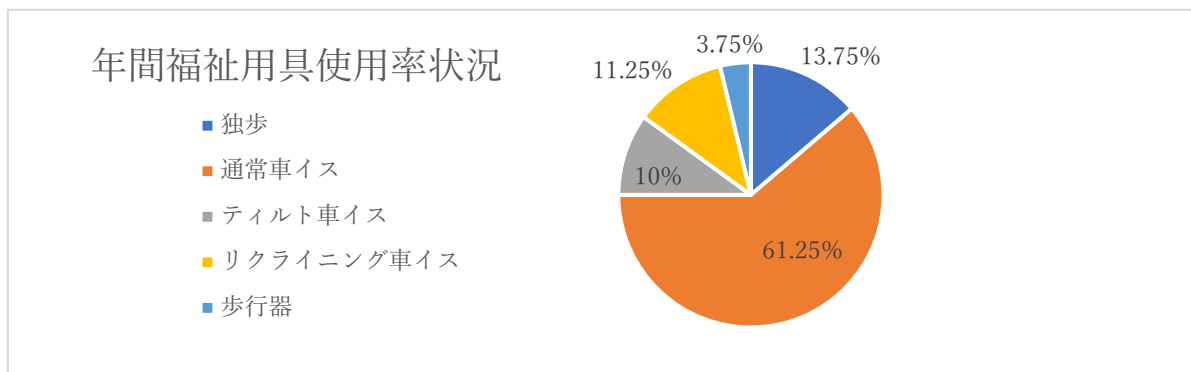
ご家族や利用者の意向を伺い、退居後にも安全に在宅生活を送れるよう自宅環境や利用者の行動状況を把握したうえで、施設サービス計画書・個別機能訓練計画書に基づいて実施しました。

また、利用中の全利用者を対象に、全身状態の評価と機能訓練を実施しました。



(4) 施策と実施状況について

- ◎施設全体での感染予防対策による入室制限等にて、積極的な個別機能訓練の実施が難しくなっています。そのため、利用者の生活リズムや個々の身体状況に合わせての生活リハビリを実施することがより一層必要になっています。集団の体操だけでなく、運動を取り入れたレクリエーションも積極的に取り入れ、介護職員へ機能訓練の必要性の周知と指導を行い、日常生活に直結した運動プログラムの作成を実施しました。
- ◎利用者の身体状況の変化を適宜評価・記録に残し、評価内容を加味したうえで介護職員と協力し日常生活の支援ができるように取り組んでいます。また、ヒヤリハットやインシデント報告の内容を把握し、機能訓練の指導や身体機能に合わせた環境整備等、機能訓練会議やユニット会議にて情報共有に努めました。
- ◎福祉用具（自助具・車椅子）やマットレスの選定、居室環境の見直しを定期的に行い、利用者が安全に生活出来るように支援を行いました。臥床時間が増加している方には、褥瘡予防に向けたポジショニングや体位変換方法、除圧の必要性の周知と指導を介護課、看護課と連携し実施しました。



iv 栄養課

【今期の目標と趣旨】

施設重点目標とする「食」「事故防止」を課題とし、利用者にとって健康と生きる活力となる様な食事を提供します。日々の生活の中で食は大きな楽しみと考え、五感を刺激しながら食事が楽しむことが出来るよう努めます。又、衛生管理には十分配慮し、安心・安全な食事が提供できる様、管理栄養士が中心となり職員への指導を行います。

【方針】

- (1) 毎月 1 回の行事食の提供
- (2) 季節に合わせた献立やおやつを提供
- (3) 食数管理
- (4) 月毎の献立作成
- (5) 定期カンファレンスへの参加
- (6) 給食委員会と連携し嗜好の把握
- (7) ユニットキッチンの衛生管理
- (8) 厨房業務の把握

【令和3年度実施報告】

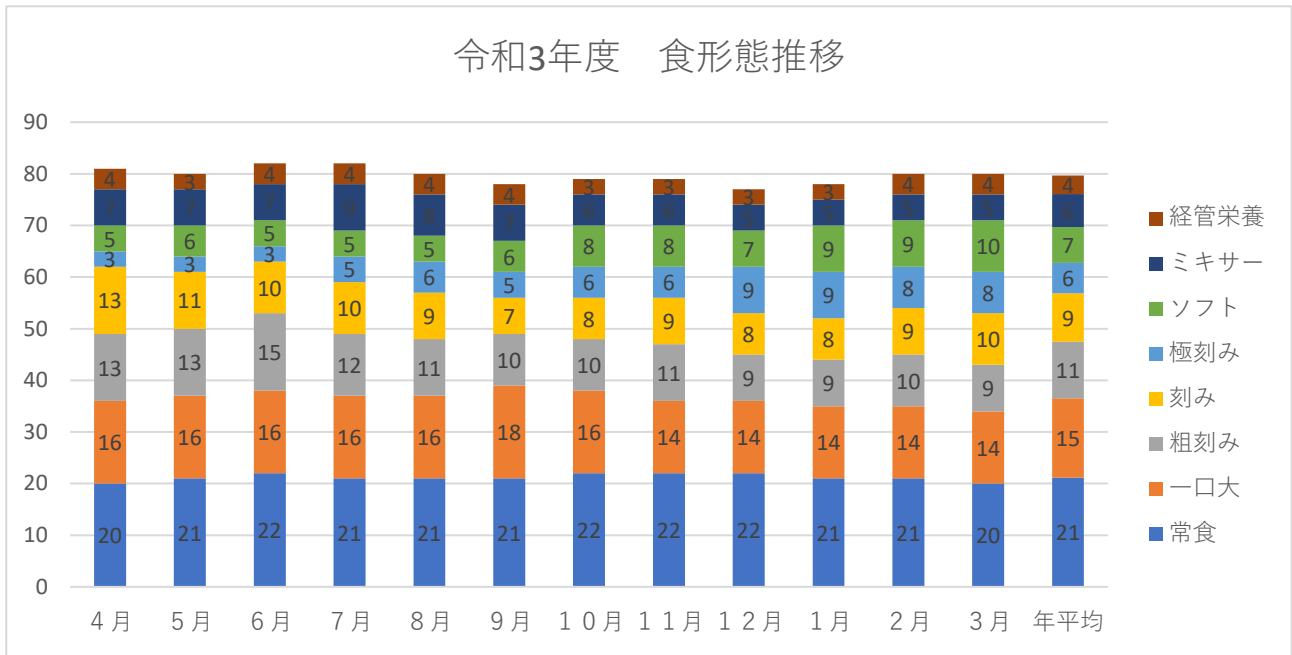
今年度は事故防止を重点目標とし、厨房スタッフ一人一人が事故に対する意識づけができるよう、スタッフ間の声かけ・連携の強化、事故報告やヒヤリハットでの報告体制、改善するための厨房ミーティングを実施ししています。配膳ミスについてもヒヤリハットではなく、厨房から上膳されたものは全て事故として扱い、スタッフ全員で再発防止に努めました。

食は楽しみと考え月 1 回以上の行事食を実施、あおば農園で利用者と一緒に野菜を育て、収穫し、調理し振舞い、みんなで食べる楽しみを提供しました。献立の作成では、旬の食材の使用や、宮城の郷土料理など取り入れ利用者にとって親しみのある食事になるように工夫しました。また嗜好調査の実施や、スタッフに職員食を食べてもらえるよう呼びかけ、食べた感想を具体的に聞き取りすることで、日々改善を行っています。

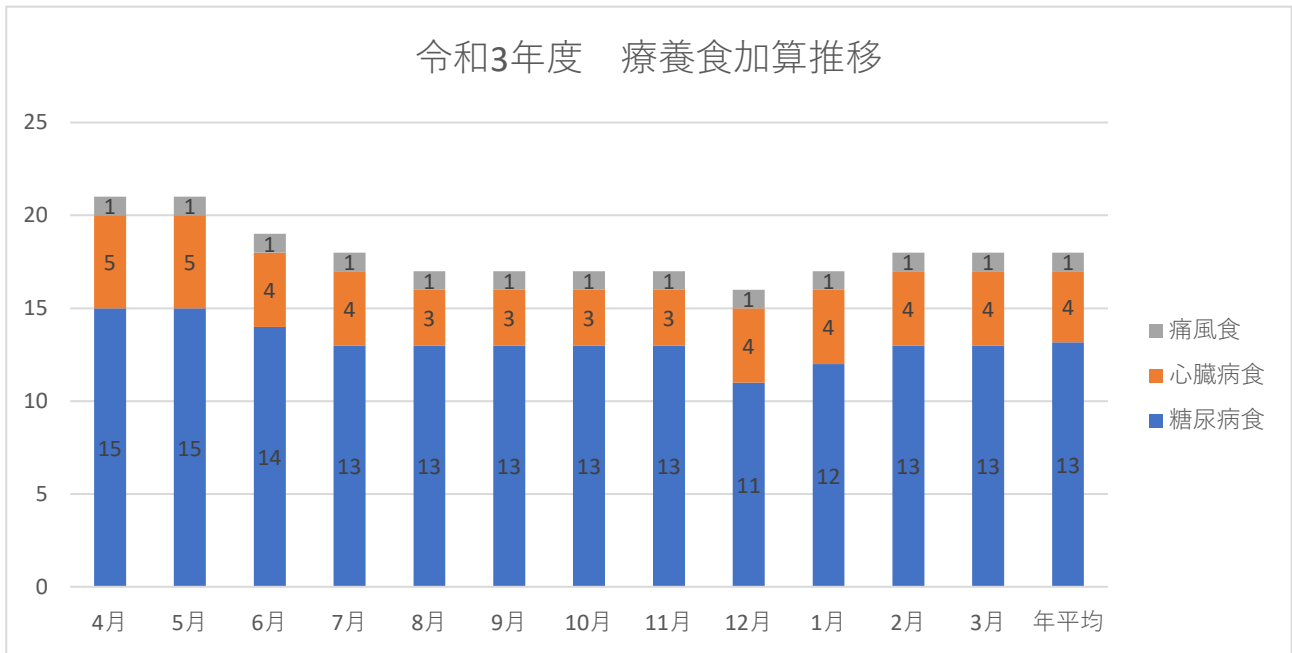
コロナ禍で調理するスタッフが利用者の顔を見ることのできない状況下ではありましたが、きれいに盛り付けられた行事食の確認や、利用者が喜んで召し上がっている写真を共有することでモチベーションを保つことができるような工夫も行いました。

利用者の健康管理では毎月体重測定をもとに BMI の算出、摂取量の確認を随時行いました。利用者一人ひとりの嗜好に配慮し禁食の対応や、栄養補助食品もドリンクタイプのみではなくゼリータイプの取り扱いも始めました。体調不良時に、揚げ物やカレーなど脂っこいものは食べられないという利用者の声を聞き、回復食の提供ができる体制を整えました。コロナ禍でミールラウンドを頻繁に行えない中ではありましたが、内線や PHS、

システムを活用した申し送り等を行い、スタッフとの連携を図り利用者の状況把握を行うことができました。



毎月数名の入退所はありますが、食事形態の水位は安定しており、全体的に摂取能力の大きな低下は見られておりません。



v-①生活相談課(生活相談員)

【今期の目標と趣旨】

多様化するニーズへの対応の他、利用者・ご家族・地域・施設の架け橋の構築と社会参加支援を行い、馴染の関係と地域での生活が安心して営めるよう取り組みます。また、施設サービスについて自己・外部の評価機関を活用し、評価から見える新たな課題に向け取り組み、より質の高いサービスを目指します。その他、様々な事業所・関係者・地域と信頼関係を構築し、安定した入居率・稼働率の維持を図る事を目標とします。

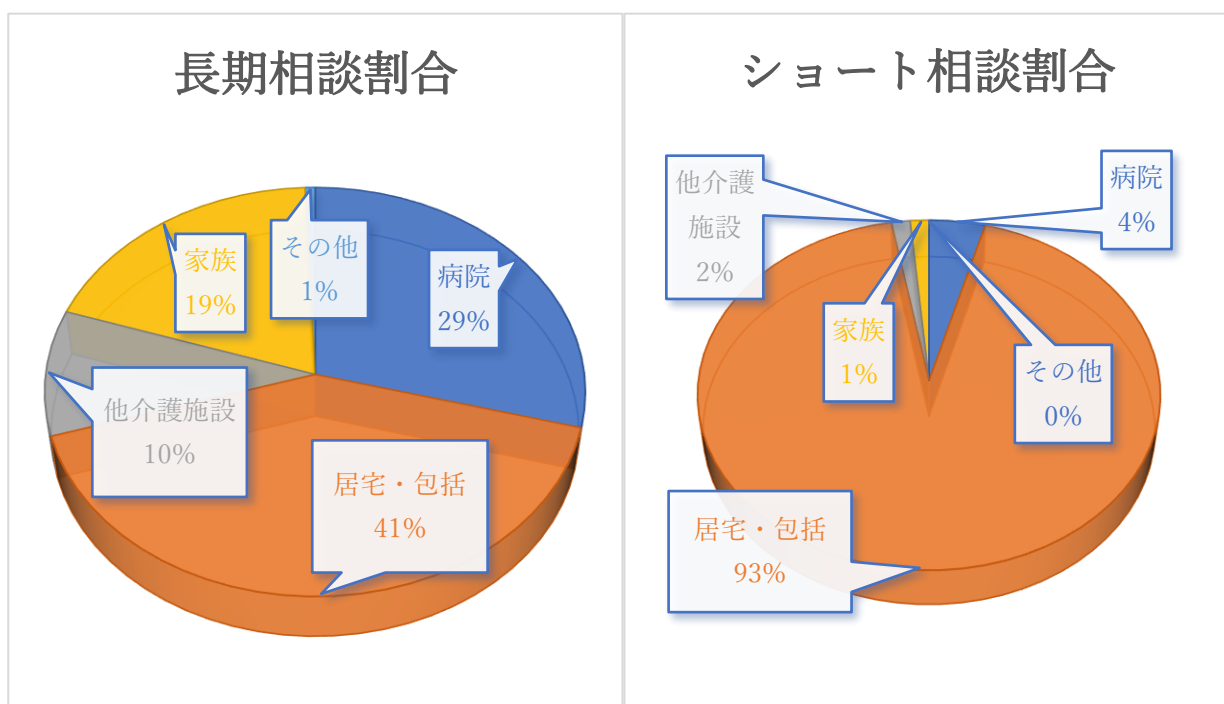
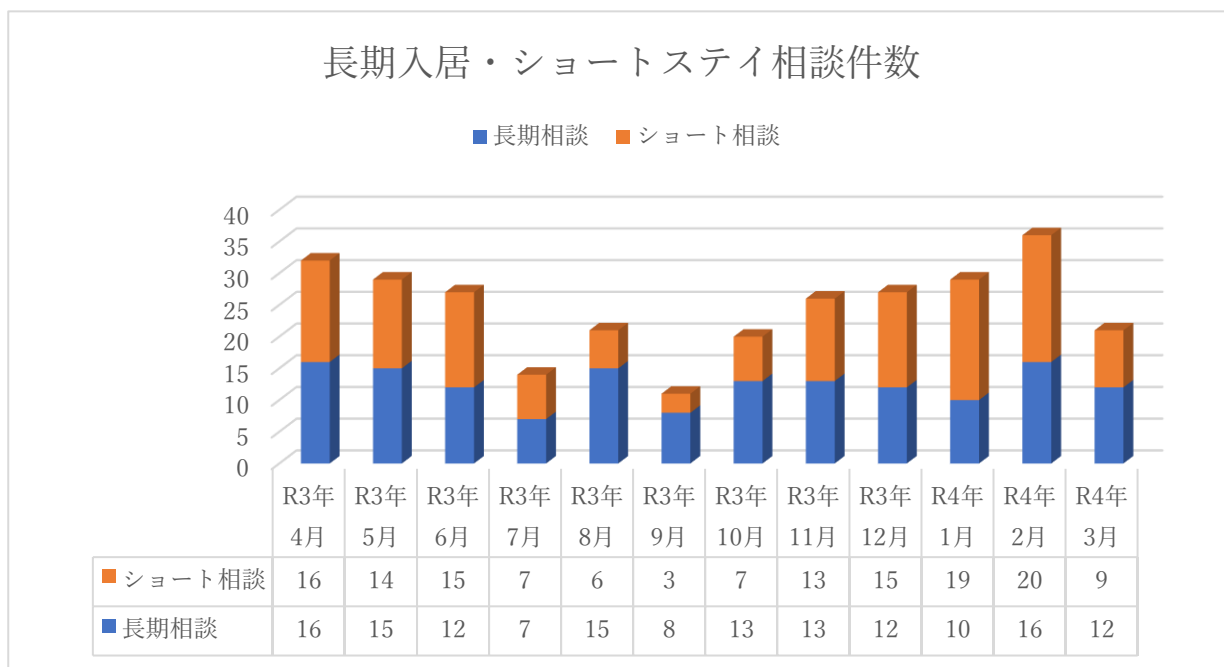
【方針】

- (1) 稼働率の安定をはかり、施設運営の安定化を図る。
- (2) 改定する報酬を見直し、より良いサービス提供に向けた取り組みを行う。
- (3) 地域や家族との情報交換、交流が図れる取り組みを行う。

【令和3年度実施報告】

- (1) コロナ禍での在宅介護困難ケース、生活保護受給者等の相談、在宅生活へ向けたショートステイ、在宅復帰を希望する長期入所者の対応、入院前や入院後のサービス利用の提案等、サービス利用を希望する利用者やご家族の状況・ニーズを確認し、短期～長期間のショートステイや柔軟な長期入居サービスの提案と対応を実施しました。コロナ禍による利用の相談内容としては、「家族が罹患する事での在宅介護の困難」「医療機関からの早期退院依頼や受け入れ拒否等による在宅介護の困難」「利用中の介護サービス事業からの利用制限の申し出」「他の介護サービス事業と併用する事で利用を制限された」という相談が聞かれています。こういったケースについても他部署と協力し感染対策を行いながらサービス提供を実施し、稼働率の安定に向け取り組みを継続しています。
- (2) 2021年に改定した介護保険について、科学的介護情報システム(LIFE)の活用が開始となっています。様々な利用者情報を集約し、エビデンスに基づく質の高いサービス提供が求められる事となりました。これまでにないシステムの活用となりましたが、より質の高いサービス提供に向け、各部署が連携してLIFEの活用を実施しています。取り組みの結果として様々な加算が算定可能となり、「質の高いサービス提供＝介護報酬の安定」へ繋がっています。また、今期は外部評価機関を活用した第三者評価を実施いたしました。評価内容は公表し、今後のより良いサービスに、また開かれた施設に向けて今後も定期的に継続していく予定としています。
- (3) 家族や地域とのかかわりについてはコロナ禍の状況もあり、今期も取り組みは不十分な結果となっています。家族会、家族交流会について検討していましたが、感染防止の観点から延期とし、今年度も家族へ向けたアンケートの実施を行いま

した。アンケート結果の内容は現在の感染対策についての感謝と応援メッセージを多数いただきました。地域との交流については、コロナ収束後に地域参加できるよう、町内会長様と面談を重ね、施設の開放や地域行事参加等について話し合いをさせていただきました。



全体を通して、居宅介護支援事業所からの相談が多い傾向です。また、病院からの退院依頼で相談となるケースも増加傾向です。

v-②生活相談課(介護支援専門員)

【今期の目標と趣旨】

利用者に合わせた個別的・集団的支援を行なうため、日常生活支援のニーズだけでなく、趣味や嗜好、イベント等の非日常的支援のニーズもアセスメントし他職種協力のもとサービス計画を立案します。ICTの活用にも着目し様々なアプローチができるよう検討します。立案した計画は各セクションが協力して取り組むことができるよう調整や必要時のカンファレンス等の実施に努めます。また、ご家族の希望や要望についても確認し、協力して利用者の支援が実施できるよう取り組みを行います。

【方針】

- (1) その人らしい生活ができるように本人の状態、状況だけでなく家族や職員等からの情報収集を行い、生活が継続したものとなるようにしていく。
- (2) その人らしい生活の継続に向け各セクションが協力して介入できるよう調整を行います。またICTの活用にも着目し検討していく。
- (3) 定期的なカンファレンスの他、随時利用者の様子を確認し、必要時にはカンファレンスを行い、統一したケアが提供できるよう取り組みを行う。

【令和3年度実施報告】

- ・定期的に利用者のモニタリングを実施、各部署と連携しながら現状と課題抽出に取り組みました。また、日々ユニットへのラウンドと職員から情報収集を行い本人の状態把握に努めました。看取り期においては、本人が苦痛なく安楽に過ごす事ができるよう各部署と連携を実施したほか、医師からの病状説明や看護からの処置等の説明の際には同席し、ご家族の意向を確認しながらサービス計画の作成を行いました。
- ・コロナ禍の中で利用者のご家族との対面での面会ができない状況が続いており、窓越しでの面会やタブレット端末を使用しての面会を実施しました。その他、利用者の状態変化時等、ご家族へこまめに状態報告を行い、ご家族との関わりが継続できるよう取り組んでいます。
- ・ケアプランの目標期間更新に併せてカンファレンスを開催。感染防止対応の為、各部署を招集しての会議開催が難しい中、各部署から個別に聞き取りを行い、ケアプランの計画作成に努めました。課題となる項目については都度各部署へ内線やシステムを活用した申し送りを行い、解決に向けて検討する取り組みを行いました。
- ・適切な介護度への取り組みと感染防止の観点から、要介護認定に係る調査業務委託を受け、認定調査業務を実施しました。認定調査業務の委託を受けるにあたり、より専門性を高める為、外部の研修に参加し認定調査に必要な知識・技術の修得に努めました。

【令和3年度 認定調査件数】

| | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|
| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| 1件 | 3件 | 0件 | 1件 | 2件 | 0件 | 1件 | 3件 | 1件 | 0件 | 2件 | 2件 |

【令和3年度 実績報告】(令和3年4月～令和4年3月)

長期入居(定員80名)月間・年間稼働実績 目標稼働率95% (%)

| | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
| 今期実績 | 98.54 | 93.59 | 97.71 | 98.06 | 96.77 | 95.67 | 96.57 |
| 前年度 | 93.71 | 97.30 | 98.04 | 96.42 | 96.94 | 98.63 | 98.71 |

| | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 平均稼働率 |
| 今期実績 | 95.96 | 94.76 | 96.29 | 97.01 | 99.07 | 96.67 |
| 前年度 | 97.67 | 99.19 | 97.82 | 96.96 | 97.58 | 97.41 |

短期入所生活介護(定員20名)月間・年間稼働実績 目標稼働率80% (%)

| | | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
| 今期実績 | 76.83 | 77.26 | 84.00 | 81.13 | 88.55 | 80.00 | 75.81 |
| 前年度 | 71.5 | 64.33 | 78.0 | 87.10 | 75.48 | 90.67 | 89.77 |

| | | | | | | |
|------|-------|-------|-------|-------|-------|---------|
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間平均稼働率 |
| 今期実績 | 79.50 | 83.71 | 93.39 | 99.29 | 86.45 | 83.83 |
| 前年度 | 86.83 | 89.35 | 85.32 | 81.25 | 77.90 | 81.46 |

令和3年度 累積稼働実績 (%)

| | | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 |
| 今年度 | 94.20 | 90.32 | 94.97 | 94.68 | 95.13 | 92.53 | 92.42 |
| 前年度 | 89.27 | 90.68 | 94.03 | 94.61 | 92.65 | 97.03 | 96.77 |

| | | | | | | |
|-----|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|
| | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 年間平均総合稼働率 |
| 今年度 | 92.67 | 92.55 | 95.71 | 97.46 | 96.55 | 94.1 |
| 前年度 | 95.50 | 97.23 | 95.32 | 93.82 | 93.65 | 94.21 |

II. 年間各種活動報告

i 施設行事・委員会等の報告

茂庭台あおばの杜 令和3年度年間行事報告

| | | | |
|----|---------|-----|-----------|
| 4月 | お花見ドライブ | 10月 | 芋煮会 |
| 5月 | 農園づくり | 11月 | ミニ運動会 |
| 6月 | アロマセラピー | 12月 | クリスマス会 |
| 7月 | 夏祭り | 1月 | 餅つき大会 |
| 8月 | 七夕飾り | 2月 | 豆まき |
| 9月 | 敬老会 | 3月 | ひな祭り VR旅行 |

※地域等の感染状況に留意し、予防策を講じながら実施いたしました。

茂庭台あおばの杜 令和3年度会議報告

| | |
|-----------|---|
| 経営会議 | 課長職以上の職員が参加し、施設の運営について話し合いを行っています。 各課の状況を報告しつつ、今後の課題や取り組みについて検討を行いました。 施設体制状況の確認やICT導入、内外部の研修内容と参加、福祉用具の購入等について決定していきました。 |
| リーダー会議 | リーダー職が参加し、経営会議で決まった内容の周知を行う他、各リーダーが取り組む内容の確認や経過報告等を行いサービス提供に向けた話し合いを行っています。 職員への指導内容や方法についても検討を行いました。 |
| ユニット・部署会議 | リーダー会での決定事項や内容の周知を行う他、それぞれのユニットや部署で抱える課題や経過について話し合いを行っています。また、必要に応じてユニット内で勉強会や事例検討を行いました。 |
| 機能訓練会議 | 利用者に合わせた機能訓練や介入状況、今後の介入方法等を検討しました。機能訓練指導員が中心となり、介護職員への指導や機能訓練計画についても情報を周知する取り組みを行っています。 その他福祉用具の使用状況等を共有し、必要な福祉用具の検討も併せて行っております。 |
| 全体会議 | 全職員を対象とした会議を行い、周知事項の確認の他、全職員を対象とした研修の実施や、地域清掃等の参加も併せて行っています。 状況に応じてオンラインを活用したビデオ通話を取り入れ、全職員が参加できるよう取り組んでいます。 |

茂庭台あおばの杜 令和3年度委員会活動報告

| | |
|-----------------|---|
| 感染対策委員会 | コロナウイルスについては、看護課と連携し理解についての勉強会や施設内での行動制限の実施を行っています。感染BCPについては看護課を中心に作成と見直しを随時実施しています。 |
| 排泄・褥瘡予防委員会 | 褥瘡の発生リスク、発生に至る原因、発生後の対応について勉強会を実施。また、看護課を中心とし皮膚状態の評価を行う事で、褥瘡マネジメントへの取り組みを行っています。 |
| 看取り委員会 | 施設での看取りの対応について、利用者への関わり方や、ご家族との情報交換等について勉強会を実施しています。終末期の対応については該当ユニットだけではなく、他のユニットや各部署も介入し取り組みを行っています。 |
| 給食委員会 | 日々の生活に必要な食事について、楽しくおいしく食事が出来るよう取り組んでいます。食事アンケートの実施や農園で育てた野菜の活用など、食べるだけではなく育てる事や調理する事に参加できる取り組みを行っています。 |
| 記録委員会 | 日々行う介護記録や事故発生時の報告、会議の議事録等誰が見てもわかる記録の方法について勉強会を行っています。新人職員からベテランの職員まで、記録の方法を統一することで、スムーズなケアに向けて取り組んでいます。 |
| 安全衛生委員会 | 産業医医師と連携し、職員の腰痛やストレス、健康診断結果について相談し、職員が気持ちよく業務に介入できる取り組みを行っています。コロナ禍の状況もありオンラインを活用したラウンドや会議を開催し、施設内の衛生状況や安全面について指導を受け対応しております。 |
| 事故・身体拘束・虐待防止委員会 | インシデント、アクシデントを可視化する為、書きやすい報告書の作成や集約した情報の開示、事例を活用した対策研修等を行っています。報告は各部署が取り組み、毎月集計を出す事で、同じ事故が起きないような取り組みを委員会が中心となり行っています。 |
| ICT委員会 | より良いケアの提供、ケアを提供する職員の介護負担軽減を目的に、ICTの情報収集や導入の検討を行っています。今年度は感染対策に向けた移動式陰圧装置の導入、ユニット前室での除菌装置の導入、ラインワークスを導入し職員間の業務連携の構築に取り組んでいます。 |
| CS委員会 | サービスの質の向上、サービスを越えたサービスの提供に向け、入職時のマナー研修やサービスの考え方について研修を実施しています。 |
| ホームページ委員会 | 開かれた施設を目指し、施設内での行事や取り組みについて公表する仕組みを構築しました。今年度は研修や行事、施設からのお知らせを掲載しています。 |

ii 内部・外部研修報告

| 月 | 外部研修名 | 参加課 | 内部研修(全体) |
|-----|--|---------------------------------|------------------|
| 4月 | | | 事故防止研修 |
| 5月 | OJT指導者研修 介護スキルアップ研修 | 介護課 | 脱水予防研修 地震想定訓練 |
| 6月 | 介護スキルアップ研修 認知症介護基礎研修 | 介護課 | 感染対策研修 消防訓練 |
| 7月 | 介護スキルアップ研修 | 介護課 | 排泄・褥瘡 |
| 8月 | アサーティブ研修 BCP研修 中堅・監督者研修 DWAT研修 | 相談課 施設長・副施設長 介護課 | 身体拘束防止 虐待防止研修 |
| 9月 | DWAT研修 介護福祉士実務者研修 認知症実践者研修 コミュニケーション研修 クレーム研修 介護サービス質の向上研修 | 介護課 介護課 相談課 | 認知症の理解 |
| 10月 | 摂食嚥下リハ研究会 ケアマネジメント研修 介護つながりセミナー 次世代型介護事業所セミナー | 栄養課 相談課 施設長・副施設長 | 終末期ケア |
| 11月 | 介護スキルアップ研修 排せつケア研修 車イス適合支援研修 高齢者権利擁護研修 施設管理者研修 | 介護課 機能訓練課 相談課 施設長・副施設長 | 感染予防対策 |
| 12月 | スキルアップ研修 新任職員研修 要介護認定調査に係る調査員現任研修 次世代型介護施設事業所セミナー | 介護課 相談課 施設長・副施設長 | 事例検討会 消防訓練 |
| 1月 | コミュニケーション研修 スキルアップ研修 介護職種の技能実習指導員講習 | 介護課 介護課 | 褥瘡予防 |
| 2月 | 介護スキルアップ研修 居宅・施設ケアマネ合同研修 次世代型季語事業所セミナー | 介護課 相談課 施設長・副施設長 | 身体拘束の定義 虐待の理解 |
| 3月 | DWAT研修 感染とリハビリテーション研修 | 介護課 機能訓練課 | 認知症について |

iii 災害対策

大規模地震を始めとする災害が発生する可能性を鑑みて、災害BCP（事業継続計画）の作成と見直しを行い、災害発生時に事業を継続できる取り組みを実施いたしました。

災害時にできる限り施設サービス機能を低下させず、利用者が安全に過ごせるよう、下記の点を重点施策としBCPの見直しを進めています。

- ライフライン停止時の備え

自家発電装置及び受水槽等をライフライン停止時に効果的に活用できるよう、使用ルールの明確化を行いました。また、非常用バッテリーや冬季の暖房器具等（毛布や石油ストーブ等）の防災用品の数量も見直しを行っています。

- 食糧等の備蓄の確認・点検・補充

食糧の備蓄（現状は利用者100名分×3日分の非常食と水）、介護・医療消耗品や機材の再確認・点検及び必要時は補充等を行っています。

備蓄については利用者により必要項目の変動がある為、随時利用者状況も併せて確認し備蓄の確認を行っています。

- 施設内の危険箇所の再点検

施設内において、備品等の転倒・転落による危険箇所等の再点検を定期的に行っています。危険箇所には、固定アイテムの活用や保護材を活用しています。

共有部だけでなく、利用者それぞれの個室も確認し、必要箇所にはご家族の協力を得ながら保護材等の設置を進めています。

- 地域防災訓練の参加と災害時の協力要請

地域で実施する防災訓練等に参加することを推進していましたが、今年度はコロナ禍により参加を見合わせています。地域とのコミュニケーションについては感染状況を鑑みて終息後に参加できるよう継続していきます。

- 情報発信・伝達手段

災害の規模や施設の被害状況及び職員個人の被災状況に応じ、各職員が災害時において冷静な判断が行えるよう、職員の招集基準の明確化とSNSを活用した情報発信を推進しました。今期はLINEWORKSを導入し、緊急時の職員状況、利用者状況、施設状況を共有するツールとして活用をしています。

保育事業部事業報告

【富沢みなみ保育園】

○事業報告概要

令和3年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者参加型の園外遠足、運動会、生活発表会は中止とし、子どもたちにも保護者にも満足していただける園内行事に変更し、実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1)通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員90名（最大受入数120名）
- 2)延長保育事業（月～土 18時～20時実施）
- 3)一時預かり保育事業（月～土 7時～18時実施）

ii 給食部門

- 1)食育活動
- 2)衛生管理の徹底
- 3)アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1)日々の健康管理および健康指導
- 2)歯科検診

iv 防災部門

- 1)防災・避難訓練（毎月）
- 2)不審者対応訓練（年2回）

√年間行事 ※身体測定、防災・避難訓練は毎月実施

| 月 | 行事内容 | 活 動 内 容 |
|-----|--------|--------------------------------|
| 4月 | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| 5月 | 子どもの日会 | 各クラスで制作をしたり歌を歌ったりして祝う |
| | 内科健診 | 全園児内科検診 |
| | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| 6月 | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| | 個人面談 | コロナ感染予防のため各クラス個人面談を希望をとり行う |
| 7月 | 歯科健診 | 全園児歯科検診 |
| | 七夕会 | 各クラス短冊に願い事を書いたり七夕の由来を知る |
| | 水遊び | 各クラス水遊びを楽しむ(8月12日迄) |
| | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| 8月 | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| 9月 | 運動会ごっこ | 未満児 以上児でかけっこ ダンス等を楽しむ |
| | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| 10月 | 内科健診 | 全園児内科検診 |
| | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| | ハロウィン | 季節の行事を楽しむ |
| 11月 | 生活発表会 | 3.4.5歳児 お遊戯 歌の発表 |
| | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| 12月 | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| | クリスマス会 | サンタクロースが各クラスへプレゼント持ち季節の行事を楽しむ。 |
| 1月 | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| 2月 | 節分 | 季節の行事を楽しむ |
| | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| 3月 | ひな祭り会 | 季節の行事を楽しむ |
| | 誕生日会 | 各クラスで誕生児を祝う |
| | お別れ会 | 楽しかった園生活を振り返り、感謝の気持ちを深める。 |
| | 卒園式 | 園生活を通して成長したことをほめ、新たな門出をお祝いする。 |

II. 施設運営管理

i 会議等

| 月 | 内 容 | 月 | 内 容 |
|----|------------------|-----|------------------|
| 4月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 10月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 5月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 11月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 6月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 12月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 7月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 1月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 8月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 2月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 9月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 3月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |

ii 研修等

1) OJT 研修

| 月 | 研 修 内 容 | 参加人数 |
|-----|----------------------------|------|
| 4月 | 個人情報の取り扱い・人権擁護・虐待の早期発見について | 27名 |
| 5月 | 書類の書き方（日誌・個人記録・見る視点等） | 27名 |
| 6月 | 養護と教育が一体となった保育とは | 27名 |
| 7月 | 防災対策の確認、ハザードマップの確認など | 27名 |
| 8月 | 感覚統合について | 30名 |
| 9月 | ノンコンタクトタイム 全クラス（後期に向けて） | 14名 |
| 11月 | 新型コロナウイルス感染症対策、感染予防について | 4名 |
| | AED 機器の使用方法について | 10名 |
| 12月 | 子どもが夢中になって遊べる環境構成 | 25名 |
| 1月 | 食育活動について | 25名 |
| 2月 | アンガーマネジメント | 25名 |
| | 障害児保育について | 25名 |
| 3月 | ノンコンタクトタイム （1年の振り返り） | 25名 |

2) 外部研修

| 月 | 研修内容 | 参加人数 |
|-----|-------------------------|------|
| 5月 | 乳児保育研修 | 1名 |
| 6月 | 乳児保育研修 | 1名 |
| | 障がい児等保育研修 | 1名 |
| | 初任保育士等研修 | 2名 |
| 7月 | 職場におけるハラスメントの理解と対応 | 1名 |
| 8月 | 中堅保育士等研修 | 1名 |
| | 給食担当者研修 | 1名 |
| 9月 | 栄養士研修 | 1名 |
| 10月 | 育脳としつけ・子育てについて | 1名 |
| 11月 | 幼児教育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| | 主任保育士研修 | 1名 |
| | 保育士の離職防止対策セミナー | 1名 |
| 12月 | 幼児教育研修（キャリアアップ研修） ※2回実施 | 1名 |
| 1月 | 社会人としてのマナー研修 | 1名 |
| | 相談・支援研修 | 1名 |

iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

| 受け入れ期間 | 学校名 | 目的 | 受け入れ人数 |
|------------|-----------------|------|--------|
| 7月20日～22日 | 仙台こども保育専門学校 | 職場体験 | 1名 |
| 9月23日～24日 | 富沢中学校 | 職場体験 | 5名 |
| 9月13日～25日 | 仙台青葉学院短期大学 | 実習 | 1名 |
| 10月4日～16日 | 仙台青葉学院短期大学 | 実習 | 1名 |
| 10月11日～22日 | 仙台リハビリテーション専門学校 | 実習 | 1名 |
| 11月4日～5日 | 仙台幼児保育専門学校 | 職場体験 | 2名 |

iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 13件

| 年 齢 | 怪我の内容 | 対 応 |
|-----|--|--------|
| 0歳児 | 乳製品除去配慮児。食パン粉をミルクで溶く | 小児科受診 |
| 〃 | ジャンプをして転倒。玩具の角に顎が当たる | 皮膚科受診 |
| 2歳児 | 玩具の取り合いで頬に引っかき傷 | 皮膚科受診 |
| 〃 | 室内を走り転倒。唇を切る。 | 歯科受診 |
| 〃 | パジャマの裾につまづき転倒。右膝打撲 | 整形外科受診 |
| 〃 | トイレから園児の手を取り室内へ移動。右肘内障 | 整形外科受診 |
| 3歳児 | 戸外砂場遊び中に左目に砂が入る。 | 眼科受診 |
| 〃 | 室内を走り転倒。唇を切る。 | 歯科受診 |
| 〃 | 歯科検診を嫌がり、手を取って立ち上がろうとした際、園児が体をねじる。右肘内障 | 整形外科受診 |
| 〃 | 午睡明けに首をひねり、痛がる | 整形外科受診 |
| 4歳児 | 戸外遊び中に左手のひらに虫が止まり腫れる | 小児科受診 |
| 〃 | 午睡時に布団（上掛け）に足が引っ掛かり転倒。右足の甲が脛れる。 | 整形外科受診 |
| 5歳児 | 下駄箱で靴を履き待つ際、他児とぶつかり転倒。右小指若木骨折。 | 整形外科受診 |

上記について、同じ事故を起こさぬよう、また新たな事故を起こさぬように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全の保育環境整備に努めて参ります。

√ 給食部門報告

【令和3年度の目標・趣旨】

楽しく食べる経験を深め、『食を営む力』の基礎を培う。

安全・衛生的で、園児に喜んでもらえる食事の提供を目指す。

また、食育活動を通して食に興味を持てる環境を作り、好きな食べ物が一つでも増えるようにする。

【概要】

- ① 安全・衛生的な食事を提供することが、厨房業務の管理を行う。
保育室へ喫食を観察に行き、個々の喫食状況や好みを知る。
- ② “食べること”に興味を持てるよう、季節に合わせた食材や、献立の検討を行い、食事を提供する。
食育活動においては、子どもたちが食に興味を持てる活動を検討し、実施する。
喫食状況や、活動の反省を踏まえて給食会議を開催する。
また、個別での配慮が必要な離乳食児、アレルギー児については、給食室・担任・施設栄養士で必要に応じて会議を行い、変更点を周知する。

【実施内容】

・栄養管理

毎月の発育測定の数値を把握し、カウプ指数・成長曲線の作成を行い、担任と共有している。肥満・やせを把握し、担任及び看護師と経過を観察し、必要時には働きかけを行った。年2回、性別・年齢・発育測定値及び食事摂取基準をもとに、3歳未満児と3歳以上児で給与栄養目標量を設定し、献立作成の基準とした。

・食育活動

年齢に応じた食育活動計画書を作成し、活動を実施した。食材と触れ合う活動や、栽培活動、保健活動、食事のマナーや食具の使い方など、子どもたちの興味のあることや、課題などを担任と情報共有しながら活動内容を検討し、実行した。

活動実施後、活動が年齢にあったか、活動に興味を持っていたかなど、子どもたちの様子を踏まえて反省を行った。

(食文化に触れる)



(保健活動)



(食材に触れる)



・イベント食

毎月の誕生会、行事食の提供を行った。
季節感のある食事の提供を積極的に行った。

・喫食状況の把握

食事の際は、喫食状況や離乳食児の食材の大きさなどを確認した。
子どもたちが苦手なメニューや食材については、少しでも食べられるよう調理方法や組み合わせについて検討した。
子どもたちの食事のマナーについてアドバイスをを行った。

・安全な食事に向けて

離乳食・アレルギー食の誤配を防ぐため、配膳前のチェックを行った。
離乳食児は、食事形態が相違ないかの確認も行った。
アレルギー児の周知と、アナフィラキシー症状について周知・理解に努めた。

【時期に向けての課題】

- ・食や、食材に興味を持ち、食事の時間が楽しいと思えるような活動を企画する。
- ・アレルギー児の対応、周知の徹底を行う。
- ・誤配などの件数を前年度比で減少するよう対策を行う。

誤配

4/23（金）午後おやつ

3歳児、乳・たまごアレルギー児のお膳にヨーグルトがのっているのを配膳前に気づく。
誤配には至らず、次の日より、午後おやつのアレルギー児分にもチェックシールを添付するようにした。

6/11（金）昼食

0歳児、乳アレルギー疑いの児（配慮食対応中）に、粉ミルクを使用したパンがゆを提供する。即時蕁麻疹発症のため、かかりつけ医を受診し、投薬・経口薬にて経過観察を行う。

後日アレルギー検査を行い、配慮食→乳・たまごアレルギー食へ。（7/19 提出）

同日、2歳児にて、食パン喫食時にのどに詰まらせる。すぐ保育者が気付き、吐き出させたため大事に至らず。次回食パン提供時より、未満児はパンの耳を片側切り落として提供することとした。

10/14(木)

0歳児（離乳食児）フルーツのりんごスライスを食べた際に、喉に引っ掛ける。
誤嚥防止マニュアルの観点から0歳児の間はりんごを加熱して提供、1歳児離乳食児についても加熱提供とする。（なし、かきについては加熱りんごへ変更する。）

11/11（木）午前おやつ

1歳児卵アレルギー児にバタークッキー（卵入り）を誤配。一口食べてしまったところを保育者が止める。配膳チェック時、目視にて確認はしていたが見落としがあったため、次の日より午前おやつチェック時にもチェックシールを添付することとした。

12/8（水）午前おやつ

1歳児卵アレルギー児2名のアレルギーチェック表が、入れ替わっていた。（食材は幼児食と同じ）配膳チェック時に気づかず、クラスにて保育者が気付いたため、中身に変更がない旨確認し配膳した。誤配防止のため、1/4（火）よりチェック体制を強化した。

vi 防災・避難訓練

| 月 | 行事内容 | 活動内容 |
|-----|---------|--------------------------------|
| 4月 | 避難訓練 | 火災を想定し 保育士の側に集合（保育室入口まで避難） |
| 5月 | 避難訓練 | 火災の合図で担任のもとに集まり指示に従って行動する |
| 6月 | 避難訓練 | 地震を想定し 災害の違いにより避難の仕方が変わることを知る |
| 7月 | 避難訓練 | 保育士の声がけに反応しおやつや玩具に気をとられないで避難する |
| 8月 | 不審者対応訓練 | 園内に不審者が現れた際の手順を把握し、落ち着いて行動する |
| | 避難訓練 | 朝の時間帯避難訓練の目的を知る |
| 9月 | 避難訓練 | 夜間避難訓練 |
| 10月 | 避難訓練 | 二次避難場所を知る |
| 11月 | 総合避難訓練 | 消防署の方に避難の仕方等見てもらい講評を受ける。 |
| 12月 | 避難訓練 | 担任以外の先生の指示に従って避難する |
| | 浸水避難訓練 | 浸水を想定し、2階へ避難する |
| 1月 | 避難訓練 | 朝の時間帯避難訓練の目的を知る |
| 2月 | 避難訓練 | 火災を想定し 保育士の側に集合（非常口まで避難） |
| | 不審者対応訓練 | 保育士の話をよく聞き、不審者への対応を学ぶ |
| 3月 | 避難訓練 | 三次避難場所を知る |

vii職員配置

| | |
|-----------|----------------------|
| 施 設 長 | 1 人 |
| 主 任 保 育 士 | 1 人 |
| 保 育 士 | 23 人 (常勤：17人 非常勤：6人) |
| 栄 養 士 | 2 人 (非常勤：2人) |
| 看 護 師 | 3 人 (常勤：2人 非常勤：1人) |
| 嘱 託 医 | 1 人 |
| 嘱 託 歯 科 医 | 1 人 |

【鹿野なないろ保育園】

○事業報告概要

令和3年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者参加型の園外遠足、運動会などは中止とし、子どもたちにも保護者にも満足していただける園内行事に変更し、実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員90名（最大受入数120名）
- 2) 延長保育事業（月～土 18時～20時実施）
- 3) 一時預かり保育事業（月～土 7時～18時実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 保健だよりの作成
- 3) 歯科検診

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

√年間行事 ※身体測定、防災・避難訓練は毎月実施

| 月 | 日 | 行 事 | 対 象 |
|-----|---------------|-------------------|----------|
| 4月 | 1(木) | 入園進級式・懇談会(新入園児のみ) | 新入園児・5歳児 |
| | 23(金) | 誕生会 | 3歳以上児 |
| 5月 | 7(金) | こどもの日会 | 3歳以上児 |
| | 25(火) | 誕生会 | 3歳以上児 |
| | 26(水) | 誕生会 | 3歳未満児 |
| 6月 | 7(月) | 歯科検診 | 全園児 |
| | 25(金) | 誕生会 | 全園児 |
| 7月 | 7(水) | 七夕会 | 全園児 |
| | 16(金) | 夏まつり | 全園児 |
| | 20(火) | 交通安全教室 | 5歳児 |
| | 27(火) | 誕生会 | 全園児 |
| 8月 | 20(金) | 誕生会 | 全園児 |
| 9月 | 14(火)~17(金) | 運動会ごっこ | 3歳以上児 |
| | 22(水) | 運動会ごっこ | 3歳未満児 |
| | 28(火) | 誕生会 | 全園児 |
| 10月 | 15(金) | 遠足ごっこ | 3歳以上児 |
| | 20(水) | 誕生会 | 全園児 |
| | 29(金) | ハロウィンパーティー | 全園児 |
| 11月 | 10(水) | 内科健診 | 全園児 |
| | 11(木) | 誕生会 | 全園児 |
| | 30(火)~12/3(金) | 生活発表会撮影会 | 0~4歳児 |
| 12月 | 4(土) | 生活発表会 | 5歳児 |
| | 15(水) | 誕生会 | 全園児 |
| | 24(金) | クリスマス会 | 全園児 |
| 1月 | 13(木) | 誕生会 | 全園児 |
| | 18(火) | 懇談会 | 5歳児 |
| | 19(水) | 懇談会 | 3歳児 |
| 2月 | 3(木) | 豆まき会 | 全園児 |
| | 18(金) | 誕生会 | 全園児 |
| 3月 | 3(木) | ひな祭り会 | 全園児 |
| | 10(木) | 誕生会 | 全園児 |
| | 19(土) | 卒園式 | 5歳児 |
| | 25(金) | お別れ会 | 3歳以上児 |

※避難訓練、発育測定は毎月実施

II. 施設運営管理

i 会議等

| 月 | 内 容 | 月 | 内 容 |
|----|------------------|-----|------------------|
| 4月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 10月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 5月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 11月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 6月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 12月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 7月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 1月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 8月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 2月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 9月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 3月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |

ii 研修等

1) OJT 研修

| 月 | 研 修 内 容 | 参加人数 |
|-----|---|------|
| 4月 | ミルクの作り方、おむつ交換の仕方、 SIDS チェック表の記入の仕方について | 4名 |
| | 薬の取り扱い、日誌の記入の仕方について | 6名 |
| | 熱性痙攣について | 7名 |
| | クレーム対応について | 10名 |
| | アレルギー食について | 7名 |
| 5月 | 指導計画の書き方について | 18名 |
| | 幼児保育について | 10名 |
| | 嘔吐処理について | 全職員 |
| | 連絡帳の書き方、保護者対応時の言葉の選び方について | 7名 |
| 6月 | 水遊びについて | 16名 |
| | 乳児保育について | 6名 |
| | AED機器講習 | 全職員 |
| 7月 | 保育の引き出しについて（児童文化財・持ちネタ・わらべうた） | 8名 |
| 8月 | 保育経過記録の書き方について | 4名 |
| 9月 | 製作技法について | 14名 |
| 10月 | 保育中の怪我や事故について | 5名 |
| 11月 | 遊びのルールについて | 14名 |
| 12月 | 感染症について | 10名 |
| 1月 | リトミック・運動遊びについて | 10名 |
| 2月 | 全体的な計画見直し | 6名 |
| 3月 | 年間反省 | 全職員 |

2) 外部研修

| 月 | 研 修 内 容 | 参加人数 |
|-------|---------------------------------|------|
| 5月 | コーディネーター研修 | 1名 |
| | 乳児保育研修 | 1名 |
| 6月 | 乳児保育研修 | 1名 |
| | 障害児保育研修 | 1名 |
| | コーディネーター研修 | 1名 |
| | 看護師研修 | 1名 |
| | 初任保育士研修 | 2名 |
| 7月 | アーチル研修 | 1名 |
| | 障害児保育研修（キャリアアップ研修） ※10月迄定期開催 | 1名 |
| | 乳児保育研修（キャリアアップ研修） ※10月迄定期開催 | 1名 |
| | 幼児教育研修（キャリアアップ研修） ※10月迄定期開催 | 1名 |
| | 食育・アレルギー研修（キャリアアップ研修） ※10月迄定期開催 | 1名 |
| | フォローアップ研修 | 1名 |
| 施設長研修 | 1名 | |
| 8月 | コーディネーター研修 | 1名 |
| | 中堅保育士研修 | 1名 |
| | 給食担当者会議 | 1名 |
| 9月 | コーディネーター研修 | 1名 |
| | 栄養士研修会 | 1名 |
| | 保健担当職員研修 | 1名 |
| | 民間主任保育士会 | 1名 |
| 10月 | 乳児保育研修（キャリアアップ研修） ※1月迄定期開催 | 2名 |
| | マネジメント研修（キャリアアップ研修） ※1月迄定期開催 | 1名 |
| | コーディネーター研修 | 1名 |
| | 施設長研修 | 1名 |
| | 障害児保育研修 | 1名 |
| | フォローアップ研修 | 1名 |
| | 主任保育士研修 | 1名 |
| | 施設長研修（2回実施） | 1名 |
| 11月 | 中堅保育士研修 | 1名 |
| | 幼児教育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| | 主任保育士研修 | 1名 |
| | 保育士基礎研修 | 1名 |
| | 幼児教育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |

| | | |
|-----|------------|----|
| 12月 | 看護職員連絡会 | 1名 |
| | 中堅職員研修 | 1名 |
| | コーディネーター研修 | 1名 |
| | 虐待防止推進員研修 | 1名 |
| 1月 | コーディネーター研修 | 1名 |
| | 民間主任保育士会 | 1名 |
| | 主任保育士研修 | 1名 |

iii 施設見学・職場体験・実習生の受け入れ

| 受け入れ期間 | 学校名 | 目的 | 受け入れ人数 |
|-----------|-------------|------|--------|
| 7月20日～22日 | 仙台こども保育専門学校 | 職場体験 | 1名 |
| 9月23日～24日 | 富沢中学校 | 職場体験 | 5名 |

iv 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 2件

| 年齢 | 怪我の内容 | 対応 |
|-----|--|-----------------------------------|
| 2歳児 | 午睡前に布団の上を走って転倒し、ロッカーに左耳をぶつける。 | 整形外科受診（3針縫う） 翌日より消毒に通院し、10日後抜糸 |
| 5歳児 | 朝の受け入れ時、友達と遊びがヒートアップし、友達の足が左目に当たり打撲する。 | 眼科受診。眼球の傷の有無を確認し、異常無し。塗り薬を処方。 |

√ 給食部門報告

【令和3年度の目標】

- 安全で衛生的な食事の提供を維持する。
- コロナ禍での食育活動を充実させる。
- 季節感のあるメニューやイベント食を食べやすく、子どもが楽しめるものに改善する。
- 食育目標：食事を楽しみ、食への興味・関心を高め、心身ともに健康を保つように働きかけを行う。

【概要】

- ① 安全かつ衛生的な食事を提供することができるよう、厨房業務の管理を行う。
個別での配慮が必要な離乳食児、アレルギー児においては、保護者から家庭での食事の様子を聞き取り、給食室・担任・施設栄養士で必要に応じて話し合い、情報を周知する。
- ② 食育活動においては、子どもたちが食に興味・関心を持てる活動を検討し、実施する。
感染症対策を行いながら、様々な食体験を通して食への興味・関心を高める。
- ③ 保育室へ喫食状況を観察に行き、個々の喫食状況や、嗜好の傾向を確認する。
喫食状況は、保育室の巡回や、保育士への聞き取りを行う。
食べることに興味を持てるように季節に合わせた食材や料理の検討を行い、食事を提供する。

【実施内容】

• 安全な食事に向けて

日清医療食品のチーフと密に情報共有を行い、安全かつ衛生的な給食の提供に努めた。
離乳食やアレルギー食の誤配を防ぐため、献立作成時に委託側と施設側で二重に内容を確認し、配膳前のチェックを行った。

離乳食では、食事形態があっているか咀嚼や嚥下が出来ているのか確認した。特に月齢の差が大きかったため、一人一人に合わせた食事の提供を心掛けた。発達に応じた食事が提供できるように保護者に声かけを行い、必要に応じて面談も実施し離乳食を進めていった。
また、食物アレルギーについて園内研修を行い、園児の状況や対応について周知した。

• 喫食状況の把握

食事の際は、喫食状況や離乳食児の食材の大きさなどを確認し、苦手なメニューや食材については、調理方法を変えたり取り入れるメニューを変えたりして少しでも食べやすくなるように給食会議で話し合い、献立に反映させた。
また、食べ慣れているメニューを中心に献立を作成した。

• イベント食

毎月の誕生会、行事食の提供を行った。

誕生会メニューでは、桜や雪だるまの形に盛り付けをしたり、エビフライなどをトッピングしたりして特別感のあるものにした。

行事食では食べやすいメニューを選び、盛り付けの工夫を行い、子どもが喜んで食べられるものを取り入れた。



図1.子どもの日会メニュー



図2.セタカレーメニュー



図3.お月見うどんメニュー

・食育活動

食育活動を通して、食への興味・関心だけでなく、自分で作る喜びや友達と協力する楽しさなども感じられるような活動を取り入れた。

食に関するマナーとして、食具の持ち方や、食べる時の姿勢、三角食べなど年齢に応じた食育活動を行った。

プランター栽培や、似ている食材の観察活動なども取り入れ、食材に触れる活動を取り入れた。

クッキング活動では感染症対策を行い、一人ずつ作って自分で食べられるメニューを実施したり、感染症が流行っていない時期にはカレー作りを行ったりして友達と協力する楽しさなども感じられるような活動を行った。

事前に保護者からアンケートを取り、安全を確保して取り組める活動を実施した。



図4.スイートポテト作り



図5.プランターで育てた作物

【今後の課題】

- ・安全・衛生的な食事の提供を維持する。
- ・食べることを楽しみ、食事を楽しみ合う子どもに成長していけるような食体験を充実させる。

食育実施記録

| 日 程 | 内 容 | 対象（参加人数） |
|--------|---------------|----------|
| 4月22日 | スナップエンドウの種まき | 4歳児（19名） |
| 4月23日 | 食事のマナー | 3歳児（19名） |
| 4月26日 | 正しい箸の持ち方 | 4歳児（18名） |
| 4月28日 | 三角食べ | 5歳児（20名） |
| 5月13日 | 枝豆、オクラ、なすの苗植え | 5歳児（20名） |
| 5月11日 | ピーマンの苗植え | 4歳児（19名） |
| 5月14日 | ミニトマトの苗植え | 3歳児（19名） |
| 5月21日 | 食事のあいさつ、座り方 | 2歳児（16名） |
| 6月16日 | サンドイッチ作り | 5歳児（19名） |
| 6月29日 | ラップおにぎり | 3歳児（21名） |
| 6月30日 | あいさつ | 1歳児（17名） |
| 7月21日 | カレー作り | 5歳児（19名） |
| 7月29日 | トマトソース作り | 4歳児（15名） |
| 8月17日 | 野菜スタンプ | 5歳児（18名） |
| 8月23日 | 野菜スタンプ | 4歳児（13名） |
| 8月25日 | 野菜スタンプ | 3歳児（14名） |
| 8月27日 | 野菜スタンプ | 1歳児（15名） |
| 8月31日 | とうもろこしの皮むき | 2歳児（15名） |
| 9月22日 | 箸の練習 | 3歳児（16名） |
| 9月27日 | 魚の姿 | 4歳児（19名） |
| 9月30日 | 梨とりんごの違い | 4歳児（16名） |
| 9月30日 | 梨とりんごの違い | 3歳児（20名） |
| 10月11日 | サンドイッチ作り | 4歳児（14名） |
| 10月13日 | スプーンの持ち方 | 2歳児（15名） |
| 10月14日 | 魚の姿 | 5歳児（18名） |
| 10月18日 | トマトソース作り | 3歳児（18名） |
| 10月21日 | きのこほぐし | 1歳児（13名） |
| 10月22日 | ラディッシュの種まき | 5歳児（21名） |
| 10月25日 | 小松菜の栽培 | 3歳児（19名） |
| 10月27日 | 芋煮作り | 5歳児（18名） |
| 10月28日 | ほうれん草の栽培 | 4歳児（20名） |
| 11月2日 | 焼き芋作り | 3歳児（19名） |

| | | |
|-----------|--------------------|----------|
| 11月4日 | キャベツ、レタス、白菜の違い | 5歳児(20名) |
| 11月8日 | スイートポテト作り | 4歳児(19名) |
| 12月6日 | 野菜の絵本 | 1歳児(16名) |
| 12月10日 | 食事の簡単なマナー | 2歳児(18名) |
| 12月17日 | ラディッシュの収穫 | 5歳児(19名) |
| 1月13日 | カルタ遊び | 4歳児(13名) |
| 1月24日 | キャベツちぎり | 1歳児(15名) |
| 1月26日 | 野菜スタンプ | 2歳児(16名) |
| 2月14日~17日 | ほうれん草の収穫 | 3歳児(21名) |
| 2月21日~24日 | 小松菜の収穫 | 4歳児(20名) |
| 3月23日 | ラディッシュの収穫 | 5歳児(20名) |
| 3月16日 | ほうれん草と小松菜の違い、野菜の色素 | 5歳児(20名) |
| 3月28日 | 白菜の収穫 | 4歳児(15名) |
| 3月29日 | ブロッコリーの収穫 | 5歳児(17名) |

vi 避難訓練実績報告

| 月 | 日 | 設定 | 内容 | 避難場所 | 時間 | 参加人数 |
|-----|-----|---------------|------------|----------------|--------|------|
| 4月 | 21日 | 地震(震度4) | 避難 | 各保育室 | 9:53~ | 121名 |
| 5月 | 20日 | 地震(震度4) | 避難 | 園庭 | 10:20~ | 124名 |
| 6月 | 11日 | 火事 給食室より出火 | 避難 | 園庭 | 10:02~ | 127名 |
| 7月 | 21日 | 地震(震度4) | 避難 | 園庭→ 鹿野3丁目公園 | 11:00~ | 116名 |
| 8月 | 18日 | 火事 近隣より出火 | 避難 | 各保育室 | 9:30~ | 110名 |
| 9月 | 2日 | 水害 | 避難 | ホール | 10:00~ | 117名 |
| | 29日 | 火事 近隣より出火 | 避難 | ほしぐみ保育室 | 18:30~ | 4名 |
| 10月 | 28日 | 火事 (総合) | 避難 通報訓練 | 園庭 | 9:58~ | 124名 |
| 11月 | 20日 | 火事 近隣より出火 | 避難 | ほしぐみ保育室 | 7:30~ | 14名 |
| 12月 | 25日 | 火事 近隣より出火 | 避難 | 園庭 | 9:30~ | 25名 |
| 1月 | 17日 | 地震(震度6) | 避難 | 園庭→ 長町南小学校 | 10:00~ | 122名 |
| 2月 | 7日 | 地震(震度4) | 避難 | 各保育室→玄関 | 15:15~ | 103名 |
| | 8日 | 不審者 | 避難 | ホール つきぐみ保育室 | 10:03~ | 101名 |
| 3月 | 4日 | 火事 給食室より出火 | 避難 | 園庭 | 10:38~ | 121名 |

vii 職員配置

| | |
|-------|---------------------|
| 施設長 | 1人 |
| 主任保育士 | 1人 |
| 保育士 | 24人 (常勤:19人 非常勤:5人) |
| 栄養士 | 1人 (常勤:1人) |
| 看護師 | 1人 (常勤:1人) |
| 嘱託医 | 1人 |
| 嘱託歯科医 | 1人 |

【榴岡なないろ保育園】

○事業報告概要

令和3年度は、適正な人員配置のもと、のびのびとこころ豊かな人間に成長・発達することを支援し、保護者に安心して預けられるように、一人ひとりの思いを汲み取った上で共感していくという丁寧な保育を職員全員で心掛けた。

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者参加型の園外遠足、運動会、生活発表会は中止とし、子どもたちにも保護者にも満足していただける園内行事に変更し、実施した。

I. 実施状況

i 保育事業

- 1) 通常保育事業（月～土 7時～18時実施） 定員56名（最大受入数66名）
- 2) 延長保育事業（月～金 18時～20時実施）

ii 給食部門

- 1) 食育活動
- 2) 衛生管理の徹底
- 3) アレルギー対応の徹底

iii 看護部門

- 1) 日々の健康管理および健康指導
- 2) 歯科検診

iv 防災部門

- 1) 防災・避難訓練（毎月）
- 2) 不審者対応訓練（年2回）

√年間行事

| | 保護者参加行事 | 保育園内行事 | 備考 |
|-----|---|--------------------------------|--|
| 4月 | 入園式→中止 | 内科健診、誕生会 | |
| 5月 | | 子どもの日の会 誕生会 | |
| 6月 | 保育参観・懇談会→中止 | 誕生会、歯科検診 | |
| 7月 | | プール開き→中止 七夕会、誕生会 | |
| 8月 | | 夏祭り、誕生会 | ◎今年は「ドラえもん」をテーマに装飾、音楽、企画を考え、ドラえもんの世界観を楽しみました。 |
| 9月 | 運動会 →運動会ごっこに変更 (未満児) ※保護者参加なし 園内実施 | 誕生会 | ◎以上児と未満児に分けて行う。未満児は各クラス、職員や友達と一緒に競技に取り組み、楽しく参加することができました。 |
| 10月 | 親子遠足(以上児) →徒歩遠足、動物園ごっこ ※園内行事に変更 運動会 →仲良し運動会に変更 (以上児) ※保護者参加なし 園内実施 | 誕生会 内科健診 ハロウィンパーティー | ◎親子遠足は動物園を予定していたが中止となる。しかし、子ども達と思い出に残る行事をやりたいということで、園内では室内をジャングルに見立て、スタンプラリーや動物園内の配置図を描いたり、別日には近くの榴岡公園へ徒歩遠足に出かけたりして楽しいイベントを企画、友達と楽しさを共有しながら終始笑顔で盛り上がっていました。 ◎ハロウィンパーティーは各クラス子ども達と作った衣装や飾りを身につけ、園内や保育園の周りを歩き、楽しみました。 |
| 11月 | 生活発表会 ・未満児中止 →発表会ごっこに変更 (未満児) ・以上児場所を変更 →駅東交流センターに変更して実施(以上児) | 交通安全教室→中止 誕生会 | コロナ感染症拡大防止の観点により、時間短縮、会場変更等対策を講じながら3、4、5歳児のみ保護者1名参加での実施。会場練習は出来なかったが、緊張しながらも一人ひとり楽しみながら表現する喜びを感じていた。未満児も安心できる環境の中でダンスや劇などを楽しみました。 |
| 12月 | | クリスマス会 誕生会 | 今年は窓からサンタクロースが登場!! 驚きながらも子ども達は大喜び、プレゼントをもらい笑顔いっぱいでした。 |
| 1月 | | 誕生会 | |
| 2月 | 保育参観、保育懇談会 →中止 | 節分 誕生会(二部制) | 放送での演出に子ども達はドキドキ!怖いながらも頑張って退治しました。 |
| 3月 | 卒園式 | ひなまつり会、誕生会 お別れ会 (二部制で行う) | ◎初めての卒園式は心のこもった温かい式になりました。お別れ会では別れを惜しむ気持ちや感謝の気持ちを持ちながら素敵な会になりました。 |

※誕生会、身体測定、防災・避難訓練は毎月実施

※新型コロナウイルス感染症対策のため、保護者参加行事はほぼ中止となり、園内行事に変更。

行事の様子は、写真掲示・DVD回覧を通してお知らせいたしました。

II. 施設運営管理

i 会議等

| 月 | 内 容 | 月 | 内 容 |
|----|------------------|-----|------------------|
| 4月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 10月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 5月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 11月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 6月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 12月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 7月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 1月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 8月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 2月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |
| 9月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） | 3月 | 定例会議（全体・未満児・以上児） |

ii 研修等

1) OJT 研修

| 月 | 研 修 内 容 | 参加人数 |
|-----|-----------------|------|
| 4月 | 離乳食・アレルギー対応について | 全職員 |
| 5月 | 病気やけがの対処方法について | 全職員 |
| 6月 | 造形遊びについて | 全職員 |
| 7月 | わらべうた、手遊びについて | 全職員 |
| 8月 | 保護者対応について | 全職員 |
| 9月 | リズム遊びについて | 全職員 |
| 10月 | 手作り玩具の重要性について | 全職員 |
| 11月 | 保育における環境設定について | 全職員 |
| 12月 | ヒヤリハットの活用法について | 全職員 |
| 1月 | | |
| 2月 | 気になる事例検討 | 全職員 |
| 3月 | 年間反省、全体的な計画 | 全職員 |

2) 外部研修

| 月 | 研修内容 | 参加人数 |
|-----|---|------|
| 6月 | 保育士のコミュニケーション | 11名 |
| | 保育者に必要なビジネスマナー | 4名 |
| | 保護者に伝わる文章力UP講座 | 4名 |
| | 乳児保育研修 | 1名 |
| | 絵本の読み聞かせがもたらすもの、セルフコントロール | 1名 |
| 7月 | 職場におけるハラスメントの理解と対応 | 2名 |
| | 子どもが健やかに育つ条件ー現代社会に必要なこと、気になる子どもへの保育支援について | 1名 |
| 8月 | 障害児保育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| | 保護者支援・子育て支援研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| 9月 | 給食担当者研修 | 1名 |
| | 栄養士研修 | 1名 |
| | マネジメント研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| | 食育・アレルギー対応研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| 10月 | 乳児保育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| | 幼児教育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| | 保健衛生・安全対策研修 | 1名 |
| 11月 | 保育士の離職防止対策セミナー、保育所等のリテンションマネジメント | 1名 |
| 12月 | 児童虐待防止推進員養成研修 | 1名 |
| | 乳児保育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| | 保護者支援・子育て支援研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| | 幼児教育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |
| 1月 | 社会人としてのマナーについて | 2名 |
| | 相談・支援研修（現代の子育てと家庭に対する相談支援のあり方） | 1名 |
| | 幼児教育研修（キャリアアップ研修） | 1名 |

iii 事故件数

保育中の怪我による通院件数 … 3件

| 年 齢 | 怪我の内容 | 対 応 |
|-----|-----------------------|------|
| 1歳児 | 屋内活動中に上唇から歯茎にかけて切れて出血 | 歯科受診 |
| 3歳児 | 屋内活動中に友だちの手が目の中に入る | 眼科受診 |
| 1歳児 | 屋外活動中に目の中に砂が入る | 眼科受診 |

上記について、同じ事故を起こさぬよう、また新たな事故を起こさぬように、施設整備・保育環境の見直しを行いながら、職員一人ひとりが意識を高く持ち、安心安全の保育環境整備に努めて参ります。

iv 給食部門報告

【令和3年度の目標】

- ①安全かつ衛生的で、食べることを楽しんでもらえる食事を提供する。
- ②離乳期の支援をより密に行えるよう努める。
- ③保育目標：心も身体も健康な子どもについて、食事・栄養・健康などの習慣や態度の習得を促す活動や働きかけを行う。
- ④保育目標：人と関わる楽しさを感じられる子どもについて、友達との協調、チャレンジ意欲を育む活動や働きかけを行う。

【目標達成のための取り組み】

- ①日清医療食品のチーフおよびインストラクターと密に連携し、安全かつ衛生的な給食の提供に努めた。また、行事食は去年と同じものではなく変化を加えたほか、月1回の絵本給食の企画を始動させ、食べることを楽しんでもらえるようにした。
- ②系列園の取り組みも参考に、離乳の支援を昨年より強化した。離乳食だよりを半年配信したほか、おうちでの食材の練習を促す際に子どもの様子をコメントするのにくわえ、レシピの提供や購入品の紹介などを記載したり、離乳食の段階がUPした際には給食の内容や食べている様子を、写真もまじえ担任とともに保護者につたえた。
- ③月1回の給食だより・食育だよりで保護者へ情報提供を行った。今年度は保健指導を看護師が実施することになったため、より食育や給食に力を入れるようにした。
- ④コロナ禍で感染対策のため制限がかかる中で、試行錯誤しながら活動の内容を考え、友達と協調して行ったり、友達と一緒に食べる意欲を持てたりできるような活動を心がけた。また、活動以外でも、給食時に最後の仕上げをする(おにぎりをはさむ、サンドイッチの具材をはさむ等)ことも今年度は活発に取り入れた。

【実施内容】

・栄養管理

毎月の身体計測値を把握し、カウプ指数の計算や成長曲線の作成を行い、担任・看護師と共有している。年2回、身体計測値および日本人の食事摂取基準をもとに、3歳未満児と以上児で給与栄養目標量を設定し、献立作成の基準とした。

・喫食状況の把握

喫食状況や子どもたちの声、保育士の所感を聞き、献立改善に生かしている。サイクルメニューのため、短いスパンで改良を試みることができる。

・安全な食事にむけて

離乳期の子どもについては、個々の発達状況に合わせ、適した形態ややわらかさを指示、提供している。また、毎月家庭で喫食した食品の種類や形態を保護者および担任と情報共有しながら、食品発注状況や調理工程などを考慮し、代替献立の指示を行っている。提供前には、施設長の検食で問題ないかを確認するとともに、異物混入などがない

か目視で確認している。インシデントがあった際には、厨房職員と原因を分析し再発防止に努めている。

- 五感で楽しめる食事

毎月の誕生会や、行事食の提供をしている。年度途中より玄関対応が解除となり、降園時に給食展示や絵本給食にまつわる壁面を見ながら、食についての会話がよく聞かれていた。そういった面からも、今年度新たな取り組みである絵本給食は、子どもたちのみにとどまらず、保護者も一緒に楽しんでくれている様子うかがえた。

図1 絵本給食

「きんぎょがにげた」



図2 絵本給食

給食室前壁面



図3 行事食

クリスマスプレート



図4 行事食

ひなまつりケーキ



- 食育活動

年齢に応じた食育活動計画書を作成し、活動を実施した。食材とふれあう活動や、栽培活動、食事のマナー、食具の使い方など、子どもたちの今興味のあることや課題など状況を担任と話し把握しながら、適宜計画から変更し活動内容をきめ、すすめた。差し替え提供をするなど感染症対策をしながらクッキング活動も実施した。

<実際の食育活動内容>

0歳児…11月もぐもぐしよう、2月野菜と仲良くなろう

1歳児…8月野菜スタンプ、11月いもほりごっこ、3月冬野菜と仲良くなろう

| 月 | 2歳児 | 3歳児 | 4歳児 | 5歳児 |
|-----|---------------------------------------|--|--|--|
| 4月 | | 芽出しと苗植え | 芽出しと苗植え | 芽出しと苗植え |
| 5月 | 「そらまめくんのベッド」 | 野菜の苗植え 苗の植え替え | 野菜の苗植え 自分でサンドイッチ 苗の植え替え | 野菜の苗植え 自分でサンドイッチ 苗の植え替え |
| 6月 | | うがいの練習 歯みがき指導 ピーマンの収穫 | アイス作り 歯みがき指導 | アイス作り 歯みがき指導 |
| 7月 | ばんばん持ちの練習 | ピーマン・トマトの 収穫 | トマト・なすの収穫 野菜スタンプ | トマト・なすの収穫 野菜スタンプ |
| 8月 | 野菜スタンプ・ 玉ねぎの染め物 | はしの練習 ピーマン・トマトの 収穫 | なすの実験 すいかの収穫・すいか 割りごっこ 野菜スタンプ | なすの実験 すいかの収穫・すいか 割りごっこ 野菜スタンプ・包丁の練習 |
| 9月 | りんごと梨のちがい | スイートポテト作り | | |
| 10月 | ミニ人参の植ええ (くらげゼリー作り (らっこ)フルーチェ作り | しいたけ・白菜の栽培 稲刈り | かぶ・ほうれん草の苗植 え 稲刈り | かぶ・ほうれん草の苗植 え 稲刈り |
| 11月 | | しいたけの収穫 精米作業 炊飯体験 だしの飲みくらべ | 精米作業 炊飯体験 おにぎり 味噌汁作り | 精米作業 炊飯体験 おにぎり 味噌汁作 り |
| 12月 | みかんの足湯 | クッキー作り もちつきごっこ・餅花作 り | ぐりとぐらのおきゃくさ まケーキ作り | ぐりとぐらのおきゃくさ まケーキ作り |
| 1月 | (くらげ)はしの導入 | 七草について ゼリー盛り付け 白菜の収穫・塩昆布和え 作り | かまぼこ作り フルーツ寒天作り | かまぼこ作り フルーツ寒天作り |
| 2月 | (らっこ)ばんばん持ちの 復習 (くらげ)野菜スタンプ | 食事のマナー 「からすのパンやさん」 | おなべの制作 かぶとほうれん草の収穫 | おなべの制作 かぶとほうれん草の収穫 骨付き魚の食べ方 |
| 3月 | (らっこ)じゃがいもとは つか大根の植ええ | 野菜ペーパーアート | | すいとん作り |

【次年度に向けての課題】

今年度の目標は概ね達成といえる。保護者満足アンケートで、給食についての3項目は5段階評価で8割以上の方に5評価をいただいた。次年度は、今年度の目標を引き続き掲げながら、給食および食育活動の質の向上をはかっていきたい。具体的にいうと、子どもたちが楽しんで終わるだけでなく、1年もしくは幼児期の終了までに獲得したい10の姿をみすえた見通しをもった活動内容に落とし込んでいく。また、保護者への支援内容についても、離乳期の方だけでなく充実したものになるよう努めていく。

√ 防災・避難訓練実施

《避難・消火訓練》 ◎消火訓練は毎月1回2名ずつ実施

| 月 | 日 (曜日) | 訓練のねらい | 時間 | 想定 | 避難経路・集結場所 | 参加人数 | |
|----|-----------|---------------------------------|--------|----------------|---------------------------------|------|---------|
| | | | | | | 園児 | 職員(給食室) |
| 4 | 28 (火) | 地震による災害から身を守る | 10時00分 | 地震 | 落下物の恐れのない 安全な場所へ避難する | 42 | 18(3) |
| 5 | 26 (火) | 地震による災害から身を守る | 10時30分 | 地震 | 落下物の恐れのない 安全な場所へ避難する | 53 | 14(3) |
| 6 | 25 (金) | 火災による災害に備え、 速やかに避難する | 9時30分 | 火災 | 火災の恐れのない 安全な場所に避難する | 41 | 16(3) |
| 7 | 20 (月) | 安心できる保育者と高 台に速やかに避難する | 10時00分 | 浸水 害訓 練 | 園内の階段を上がって 遊戯室の水遊び室側に 集まる | 42 | 17(3) |
| 7 | 28 (火) | 地震による災害から身を守る | 15時00分 | 地震 | 落下物の恐れのない 安全な場所へ避難する | 50 | 17(4) |
| 8 | 25 (水) | 火災による災害に備え、 速やかに避難する | 16時30分 | 火災 | 火災の恐れのない 安全な場所に避難する | 43 | 15(2) |
| 9 | 25 (金) | 火災による災害に備え 実際の消火および通報 の訓練 | 10時20分 | 総合 避難 訓練 | 非常階段または玄関よ り第1避難場所へ避難 する | 47 | 14(2) |
| 10 | 27 (火) | 地震による災害から身を守る | 10時00分 | 地震 | 落下物の恐れのない 安全な場所へ避難する | 49 | 17(3) |
| 11 | 24 (火) | 地震による災害から身を守る | 18時30分 | 地震 | 落下物の恐れのない 安全な場所へ避難する | 3 | 4(0) |
| 12 | 22 (火) | 地震による災害から身を守る | 7時30分 | 地震 | 落下物の恐れのない 安全な場所へ避難する | 7 | 4(0) |
| 1 | 22 (土) | 火災による災害に備え、 速やかに避難する | 9時30分 | 火災 | 火災の恐れのない 安全な場所に避難する | 14 | 7(1) |
| 2 | 18 (火) | 地震による災害から身を守る | 15時20分 | 地震 | 落下物の恐れのない 安全な場所へ避難する | 48 | 18(2) |
| 3 | 11 (金) | 地震による災害から身を守る | 14時46分 | 地震 | 落下物の恐れのない 安全な場所へ避難する | 51 | 15(3) |

○昨年、訓練で出た意見を踏まえ、防災頭巾(園児)を使用するのは危険と判断し着用するのをやめた。

○3月は東日本大震災の日だったので、黙祷の意味や訓練の必要性について、分かりやすく子ども達に伝えた。

《不審者侵入訓練実施》

| 月 | 日 (曜日) | 訓練のねらい | 時間 | 想定 | 避難経路 集結場所 | 参加人数 | |
|----|-----------|--------------------------------|--------|------------------------------------|-----------------------------------|------|---------|
| | | | | | | 園児 | 職員(給食室) |
| 8 | 20 (金) | ・不審者が侵入した際に、保育者が適切な対応をできるようにする | 10時10分 | 保護者と共に玄関から侵入 | 各クラス、不審者から見えない場所に避難する | 53 | 14(3) |
| 12 | 27 (月) | ・不審者が侵入した際に、保育者が適切な対応をできるようにする | 10時00分 | 保護者と共に玄関から侵入 そのまま、らっこ組に侵入しようとする | 放送での合言葉を聞いて各クラス、不審者から見えない場所に避難する。 | 45 | 15(3) |

vi職員配置

| | |
|-------|---------------------|
| 施設長 | 1人 |
| 主任保育士 | 1人 |
| 保育士 | 16人 (常勤：14人 非常勤：2人) |
| 栄養士 | 1人 (常勤：1人) |
| 看護師 | 1人 (非常勤：1人) |
| 嘱託医 | 1人 |
| 嘱託歯科医 | 1人 |